

2014 年 11 月 21 日

報道各位

株式会社サイバーエージェント(コード番号: 4751)

代表取締役社長 藤田 晋

「Ameba」が 2014 年「JCJK 流行語ランキング」発表**流行語 1 位は「ダメよ～ダメダメ」、「かまちょ」「KS」など新しい JCJK 語も上位に****流行っていたモノ・コト 1 位は「壁ドン」**

株式会社サイバーエージェント(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:藤田 晋、東証一部上場:証券コード 4751)が運営する「Ameba」は、10 代女子向けに提供するコミュニティサービス「CANDY」、「メイク me」、「Palette」を利用する現役女子中高生 1,375 名を対象として、「2014 年の女子中高生流行語」に関する調査を実施いたしました。

■現役 JCJK が見た「2014 年のトレンド」…流行語 1 位は「ダメよ～ダメダメ」

今回は、昨年(2013 年)の調査に引き続き、現役の JCJK(女子中高生)1,375 名に、「2014 年に流行した『言葉』」、「2014 年に流行した『モノ・コト』」について、それぞれアンケートを実施。調査の結果、ランキング上位は、以下のようになりました。

※「2014 年の女子中高生流行」に関する調査／調査対象:「CANDY」、「メイク me」、「Palette」ユーザーの女子中高生 1,375 名、
調査期間:2014 年 11 月 11 日～18 日

Q:今年、自分の周りで流行っていた『言葉』を教えてください。 ※複数回答**1 位:「ダメよ～ダメダメ」(1,071 票)****2 位:「レリゴー」(750 票)****3 位:「ゲラゲラポー」(714 票)****4 位:「かまちょ」(542 票)****5 位:「もしかしてだけど」(363 票)**

6 位:「KS(既読スルー)」(119 票)

7 位:「秒で」(19 票)

8 位:「OC(おいしい)」(14 票)

9 位:「TOKIO 力」(6 票)

10 位:「微レ存」(5 票)

1 位には女性お笑いコンビ「日本エレキテル連合」の大ヒットネタの「ダメよ～ダメダメ」が、2 位以下に大きな差をつけてランクインしました。5 位にもお笑いコンビ「どぶろっく」による持ち歌、「もしかしてだけど」がランクイン。一方で、テレビ、映画などのコンテンツに関連した『言葉』も豊富な 1 年となり、2 位の「レリゴー」は、ディズニー映画「アナと雪の女王」の主題歌である「レット・イット・ゴー」の歌詞。3 位にもテレビアニメ「妖怪ウォッチ」の主題歌「ゲラゲラポーのうた」の歌詞がランクインしています。選出理由として「学校内での放送や授業、文化祭の出し物でやっていた」のほか、「暇さえあれば、友達と歌っていた」といった声があがり、自分で歌う、踊るなどのアクションを伴って日常に浸透している様子が伺えました。上位 5 位

の中で唯一、独自の“JCJK 語”として 4 位にランクインした「かまちよ」は、誰かにかまってほしい＝「かまってちょうだい」の略語。リアルでの会話に加えて、Twitter や LINE といったコミュニケーションツールにおいても活用されています。自分がかまってほしいときに使うほか、「かまってほしがりな友達に対して、『あの子かまちよすぎじゃない?』と言っていた」など、活用形も進化しているようです。

ほかにも、6位の「KS(既読スルー)」は、LINEなどのコミュニケーションツールが既読ステータスになっているのに無視をすることを指した略語。7位「秒で」(＝数秒で、すぐに、の意)、8位「OC(おいしい)」、10位「微レ存」(＝「〇〇である可能性が微粒子レベルで存在する」の略、元はネットスラング)と、続けて略語がランクインしています。9位の「TOKIO力(トキオリョク)」は、テレビ番組「ザ! 鉄腕! DASH!!」での放映内容に衝撃を受けたネットユーザーによる造語。Twitterをきっかけとして、JCJKのみならず、ソーシャルメディアを積極的に活用する世代に急速に広まったワードです。

■「漫画・ドラマ・映画⇔SNS」の拡散の構造…流行っていたモノ・コト 1 位は「壁ドン」

Q:今年、自分の周りで流行っていた『モノ・コト』を教えてください。 ※複数回答

- 1位:「壁ドン」(1,147 票)**
- 2位:「妖怪ウォッチ」(883 票)**
- 3位:「TSUM TSUM(ツムツム)」(827 票)**
- 4位:「テラスハウス」(520 票)**
- 5位:「双子コーデ」(398 票)**
- 6位:「スクールラブ」(262 票)
- 7位:「LINE 歌詞ドッキリ」(188 票)
- 8位:「自撮り棒」(177 票)
- 9位:「顎クイ」(162 票)
- 10位:「半顔メイク」(161 票)

『モノ・コト』のカテゴリで圧倒的な得票数を獲得し 1 位となったのは「壁ドン」。恋愛漫画などでよく見られるシーンとして 2013 年頃から SNS を中心として話題になりました。9 位にランクインした「顎クイ」も同じく、恋愛漫画発の女子がときめくシチュエーション。こちらも再現写真が SNS に多く投稿されています。6 位の「スクールラブ」に関しては、学校生活の思い出に黒板や教室を使ってカップルや友達同士で写真を撮影するというもので、JCJK 時代だけにしか楽しめない限定感が人気のポイントだと言えます。

また、JCJK のコミュニケーション手法の変化が反映されているのは、7 位の「LINE 歌詞ドッキリ」。恋愛ソングの歌詞を一行ずつ好きな人に送って、時には告白までもを含めて、相手に気持ちを伝える新しいコミュニケーションの形で、一行ずつ送られるため、歌詞であることに相手が気付かず、ドキッとさせることからこのネーミングに。流行の火付け役は加藤ミリヤさんのヒット曲、「SAYONARA ベイベー」。歌詞に出てくる彼氏の気持ちを確かめるメッセージが、一行ずつ送ったときに相手をドキドキさせるのに当てはまることが、Twitter などで拡散される火種となりました。そのほか、8 位の「自撮り棒」は、大流行したセルフィー(自分撮り)が簡単にできるようにスマートフォンに取り付けるアイテム。スマートフォンで日常的に写真を撮

影する JCJK 世代にも使われているようです。

全体を通して、“写真(プリクラを含む)映え”するシーンが演出できることと、リアルの場合だけでなく、SNS や LINE などのコミュニケーションツールにおいても活用可能なものが出揃ったことが特徴的な今回のランキング。おしゃれさやおもしろさなど、総合的に流行に敏感でありながらも、自分たちの形にアレンジしてそれを楽しむ JCJK 世代ならではの結果となりました。

※文中に記載されている製品名、作品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■「CANDY (キャンディ)」とは

プロフィールや写真、ブログのデザインを自由にカスタマイズできる、アプリダウンロード数 100 万件以上の女子中高生向けのブログ & コミュニティサービスです。

■「メイク me (メイクミー)」とは

自分自身の顔写真を撮影する「自撮り」に注目し、よりかわいい自撮り写真を撮影するための、自撮りとメイクのテクニックを研究する女子中高生向けのコミュニティサービスです。

■「Palette (パレット)」とは

恋愛に関する悩みや、相談、ノロケ話などを投稿して利用者同士で語り合う、恋愛に特化した女子中高生向けのコミュニティサービスです。

■ URL

「CANDY (キャンディ)」 <http://candy.am/sp/index.html>

「メイク me (メイクミー)」 <http://www.meiku.me/mini/pre/login>

「Palette (パレット)」 <http://ca-palette.jp/>

■ 会社概要

社名	株式会社サイバーエージェント http://www.cyberagent.co.jp/
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目 12 番 1 号
設立	1998 年 3 月 18 日
資本金	7,203 百万円 (2014 年 9 月末現在)
代表者	代表取締役社長 藤田 晋
事業内容	Ameba 事業、インターネット広告事業、ゲーム事業、メディアその他事業、投資育成事業

■ リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サイバーエージェント コミュニティ事業本部 広報担当 E-mail: community_pub@cyberagent.co.jp